第75回指定都市学校保健協議会　　出向報告

第1 分科会「健康教育」

（提言３）

からだの元気は口から　健康は健口から

～生きる力を育む歯・口の健康づくり～

大阪市立横堤小学校　養護教諭　米田　美絵子

本校の学校保健目標は「生涯にわたり、自立した健康づくりができる基礎の構築」である。

歯・口腔の健康に関心を持たせることが、身近な生活における自身の健康づくりにつながると考えた。

そこでむし歯や歯周病の予防方法の理解を深めるためにまず教職員を対象に学校歯科医による研修会を実施した。また近隣の小学校の養護教諭と協力し、歯科保健教材の作成を行い、保健指導に活用している。

また、学校歯科健診でCOやGOがある児童に対して、秋頃に臨時健康診断を行いCO・GO検診を実施している。継続的にGOがある児童に対しては、個別に歯みがき指導を行い、児童自らGOを改善することができた。

特別支援学級在籍の児童に対しては学校歯科医が児童個々の発達の程度に合わせ、歯磨き指導を行なった。

　児童委員会活動において、ICT機器を活用し、高知県の小学校とオンラインで歯科保健交流を４回行なった。

　近隣幼稚園に健康委員会の児童が訪問し、園内で歯みがき啓発ポスターを掲示したり、メッセージビデオの視聴を行なった。

　歯・口のけがの防止と安全な環境づくりとして、歯牙障害の予防には自らの体を守るための体づくりや習慣を身に付けることが大切であると考え、体幹をトレーニングする「神津体操」を考案し、体育の時間や準備運動として活用している。

　「けがの防止」の授業では、学校歯科医を招き、歯・口のけがが起きた場合の正しい処置について指導を受けた。

　また年に一度、学校保健委員会を開催し、けがの予防についての協議を行っている。

口の中の健康について取り組みを進めていく中で、児童が口の中の安全の大切さにも気付いてもらった。地域の専門家や学校、幼稚園と連携することにより学校全体で児童の歯科課題や対応策について考えることができた。今後もこの「つながり」を大切にし、児童の歯・口の健康づくりに継続して取り組んでいきたい。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（山本　崇　記）